

沖縄ブロックにおける新規事業候補箇所の選定の考え方

資料1

【新規事業候補箇所の選定について】

〔基本的な考え方〕

対象=直轄国道管理区間(道路交通センサス区間毎)
・現状の課題及び対策の必要性について、事業完了箇所も含め総合的に評価を実施。

〔評価の考え方〕

・社会的に大きな影響を及ぼす「渋滞」、「交通事故」に着目。「損失時間」と「死傷事故率」を指標とし、直轄国道管理区間の状況进行评估。

・ネットワークの強化、沖縄振興計画等の推進、地域支援等について評価を実施。

〔新規事業候補箇所選定の考え方〕

・各区間における課題の程度や事業の実施環境を総合的に勘案し、新規事業候補箇所を選定。



H24新規事業候補箇所(案)の選定結果
一般国道58号 北谷拡幅

【新規事業候補箇所の選定指標】

課 題	項 目		指 標
渋 滞	損失時間 (Km当たり)	渋滞がない場合の所要時間と実際の所要時間の差	渋滞の程度
交通事故	死傷事故率	1万台の車が1万km走行した場合に起こる死傷事故件数	100件/億台Km/年 200件/億台Km/年 300件/億台Km/年
ネットワークの強化	幹線道路網の形成	将来道路ネットワーク・高規格・地域高規格・緊急輸送道路等の位置付け	位置づけに応じ評価
沖縄振興計画等の推進	沖縄振興計画等への位置付け	沖縄振興計画・観光振興計画への位置付け	位置づけに応じ評価
地域支援等	地域の要望	要望の有無	有 無
	地域開発支援	地域開発支援の有無	有 無
事業の実施環境	事業の進捗、関連事業の進捗	都市計画決定等の進捗状況	進捗状況に応じ評価

①一般国道58号 北谷拡幅に係る新規事業採択時評価

ちやたんかくふく

1. 事業概要

- ・起 終 点: 沖縄県北谷町浜川
おきなわけんぎのわんしーさ
～沖縄県宜野湾市伊佐
- ・延 長 等: 4.3km
(8車線、設計速度60Km/h)
- ・全体事業費: 約230億円
- ・計画交通量: 約93,800台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約67,700台/日	約14,600台/日	約11,500台/日



図1 事業位置図

3. 整備効果

効果1 北谷地区の交通容量確保

- ・北谷拡幅の整備により、国道58号北谷地区における交通容量を確保。(図5)
- ・国道58号北谷地区の渋滞損失時間が整備のない場合と比べて20%減少(図6)
- ・伊佐北交差点からアメリカンビレッジまでの速達性が向上。

混雑度 : 現況 1.26 → 整備後 0.98 (22%改善)
 渋滞損失時間: 整備無 91.4万人時間/km・年 → 整備有 73.1万人時間/km・年 (20%減少)
 速達性の確保: 現況 約22分 → 整備後 約8分 (約14分短縮)

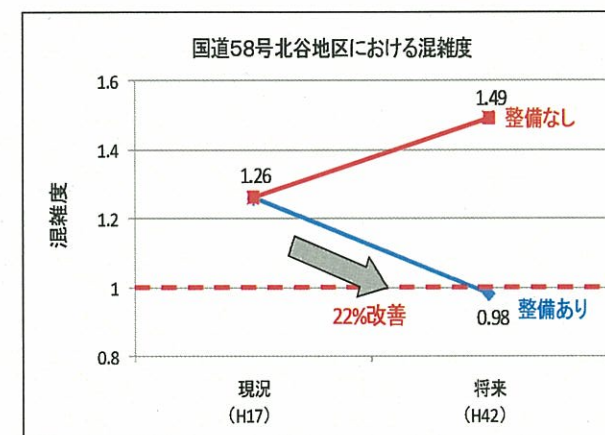


図5 北谷地区の混雑度変化

資料: 将来交通量推計結果

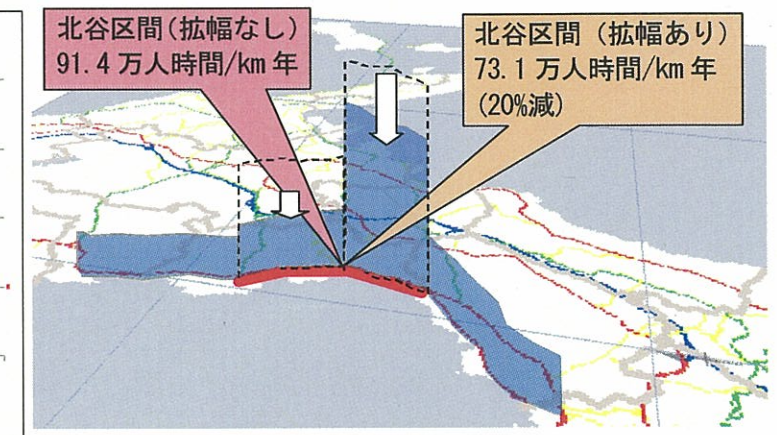


図6 北谷地区の渋滞損失時間

資料: 将来交通量推計結果

2. 道路交通上の課題

①直轄国道における交通容量不足

- ・北谷町において、沖縄本島を縦貫する主要幹線道路は国道58号のみとなっており、通過交通、生活交通、観光交通等全てが当該道路に集中、そのため、直轄国道で平日、休日とも慢性的に交通容量が不足、混雑度が高い状態。(図2)
- ・将来、当該地区においては、区画整理事業等の整備による商業施設の集積に伴い、さらに交通需要が増大し交通混雑が進む。

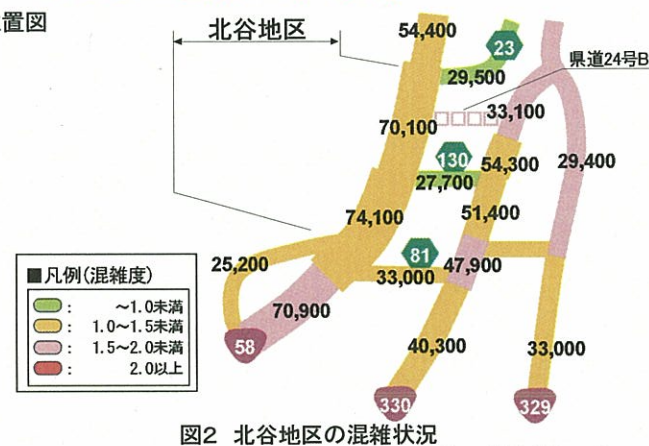


図2 北谷地区の混雑状況

資料: H17道路交通センサス

効果2 北谷地区における地域活性化

- ・国道58号の容量確保に伴い混雑が緩和され、観光及び利用客の北谷地区での滞在時間が増加し年間商品販売額増加に繋がることが期待される(図7、図8)
- ・混雑緩和に伴い、沿道の土地利用(米軍跡地等)の促進が期待される。

滞在時間の増加: 現況 約2.7時間 → 整備後 約3.4時間 (約42分増加) ※試算値

問: 本日の滞在時間はどのくらいですか?

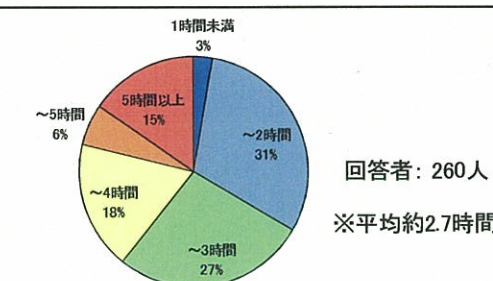


図7 北谷地区の滞在時間

問: 道路整備が進み、更に混雑緩和した場合、北谷地区での滞在時間(業務・運搬等の場合は余裕時間)は増加すると思いますか? 増加の場合、具体的に教えてください。

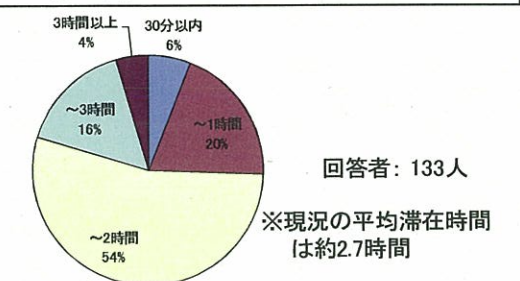


図8 道路整備後における北谷地区の滞在増加時間

資料: H23アンケート調査結果

費用対便益の詳細

	総費用	161 億円	総便益	762 億円	基準年
B/C	4.7	事業費: 155 億円 維持管理費: 6.3 億円	走行時間短縮便益: 736 億円 走行費用減少便益: 36 億円 交通事故減少便益: -9.9 億円		平成23年

・経済的内部収益率(EIRR): 13.9%

※総費用・総便益については、基準年(H23)における現在価値を記入
 ※便益には3便益(走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益)を計上

②多様な目的を持った利用交通の輻輳

- ・北谷地区には、米軍基地等の就業施設や観光・商業施設が集中しているが、内陸部の多くが米軍基地で占められており、通過交通、生活交通、観光交通等、全ての利用交通が国道58号に集中する結果となり、沿道交通環境が悪化。
- ・特に朝夕のピーク時や休日など、国道58号が混雑する時間帯には混雑を避けて地区内道路に通過交通が入り込んでおり(図3)、混雑を嫌った観光客が北谷地区での滞在時間をさらに減少させたり、他地区の利用へ転換、フィッシャリーナ計画※等開発計画へも影響する恐れがある。

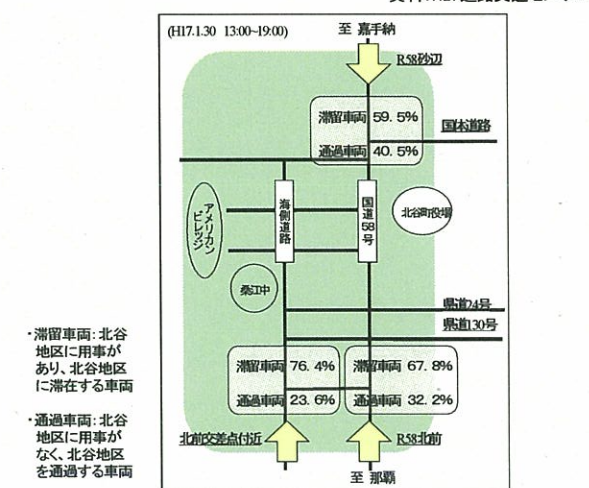


図3 国道混雑に伴う地区内道路への通過交通の流入

資料: H16ナンバープレート調査

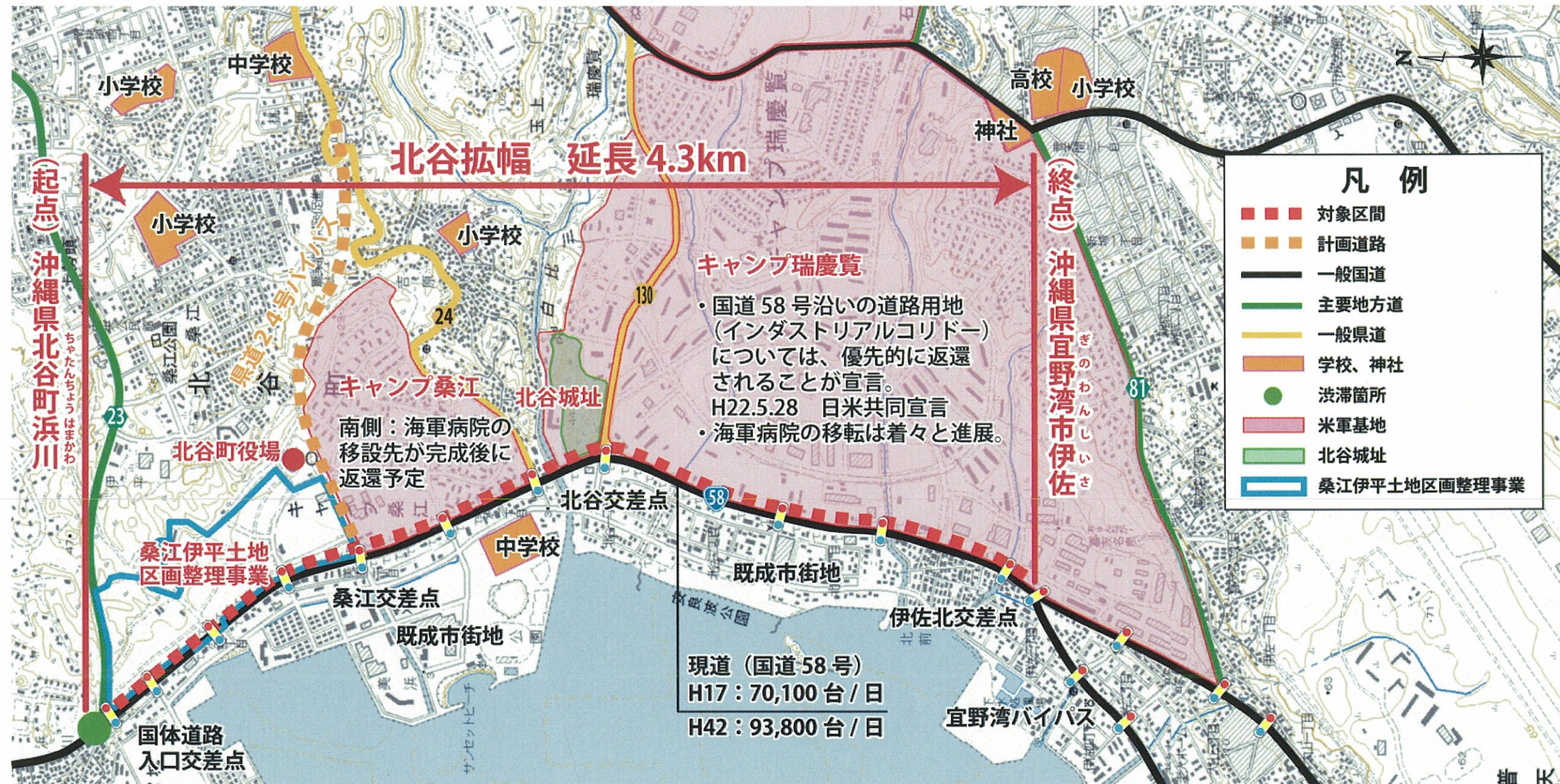


図4 フィッシャリーナ計画 完成予想全体図

出典: 北谷町ホームページ

※フィッシャリーナ計画とは、FISH/Fishery(魚/漁業)とArena(劇場)を組み合わせた造語であり、この一帯を開発し、漁業や商業施設を含めた都市型観光リゾートの形成を目指すもの。

ちやたんかくふく
①一般国道58号 北谷拡幅に係る新規事業採択時評価



至 嘉手納町

至 那覇市

